



名城支部

20周年記念誌

歴史とともに歩む
北区・東区



支 部 長 挨 捶



伊藤 茂雅

平成 12 年 4 月に社団法人愛知県宅地建物取引業協会の東区の東支部と北区の北支部が支部統合により名城支部が創立され、本年度創立 20 周年を迎えることとなりました。会員の皆さんには、平素支部事業に対しまして深いご理解ご協力を賜り心より感謝申しあげます。

初代青木支部長のもと約 410 名の会員数で当初 19 のブロックに区分けされ支部事業がスタートしました。19 名の評議員（現在の支部幹事）がブロックを担当して、年 1 回担当ブロックの会員事務所を訪問して直接会員から支部への要望等を聞き、支部事業の案内等の説明を行なってきました。この会員訪問事業は県下 15 支部の中で名城支部だけが行なっている支部事業で他支部からも注目され現在も続けております。

そして、東区と北区の会員が一つになったという事で同好会を発足させ会員間の交流をはかるよう活動を始め、現在はカラオケ・テニス・ゴルフ・F R K（不動産流通研究会）・卓球と活発に活動して親睦をはかっております。また、県下 15 支部がほぼ同じ事業を行なっているのですが地域性により内容が異なったりしている事から名城支部では独自の事業で他支部訪問と言う事業を始めました。14 の支部を平成 14 年～平成 19 年に、2 回目として平成 25 年～平成 27 年にかけて訪問し、役員間の意見交換をさせてもらい他支部の良い所を参考にして支部事業に役立てています。現在同好会活動している F R K と支部会議室で行なわれている「実務に役立つ勉強会」（年 2-3 回）も他支部訪問にて参考にさせていただいた事業の一つです。

そして、会員数が年々減少していき平成 16 年からは 19 ブロックから 17 ブロックへとブロック数を減らし各ブロックの会員数の均等化をはかりました。更には、平成 24 年度には会員数が 350 名を切り減少していくばかりで平成 30 年度には、2 回目のブロック再編成を行いました。

その様な中、私共協会は平成 24 年度から公益社団法人へと移行し、更には宅地建物取引主任者から宅地建物取引士へと名称変更がなされ不動産業界の社会的信用の認知度も向上したのではないかでしょうか。

そして、昨年度より正会員の県下統一研修会への出席が義務化となり、益々会員の資質向上が求められ常に新しい知識を習得し、新しい情報に耳を傾けていただきたいと思います。

この節目の 20 年を機に初心に戻り業務上の義務及びコンプライアンスに関し、もう一度振り返って考えていただきたいと思います。

最後になりますが、次の 30 年・40 年に向けて皆さまの一層のご理解・ご協力をお願い申し上げるとともに、皆さまのご健康とご盛業を祈念し挨拶とさせていただきます。

愛知宅建会長祝辞

名城支部創立 20 周年 誠におめでとうございます。

貴支部は、初代青木支部長より、現伊藤支部長までの 4 代に亘りバトンが引き継がれ、この度、記念の節目を迎えらえますことに本部を代表して心よりお慶びを申し上げます。

さて、貴支部が当初より、支部訪問や勉強会、青年部会・女性部会、各種同好会などの諸事業に積極的に取組まれて、横の繋がりに重きをおかけた活動をされていますことは他支部の良き見本となっています。

過ぎ去りし 20 年の間には、バブルの後遺症、リーマンショックなどの経済情勢の激変がありましたし、業界においても IT の急激な普及、公益法人移行、取引士への名称変更、空き家問題など大きく変化してまいりました。

本会もピーク時の会員数が 6450 名から現在では 5529 名へと減少し、少子・超高齢化の波は次期を担う役員選出にも影響が出始めています。ご承知のように「人は石垣・人は城」と言われる通り、組織を築くのは人です。私たちの公益社団法人は…人材育成が消費者保護に繋がる…という名分のもと、今後も「愛知版ハトマークビジョン」に基づいた業界の理想の姿を目指して、これらの諸事業を積極的に取組んでまいります。

むすびに、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、本会への一層のご支援ご協力をお願い申し上げまして御祝辞と致します。



岡本 大忍

支部顧問挨拶 祝辞

顧問の青木忠廣でございます。名城支部創立 20 周年を迎えるにあたり、祝辞を申し上げます。

(社)愛知県宅地建物取引業協会が、改革を重ねて実施されてきましたが、当時 43 支部がありました所、支部の統合、再編成に至り、旧東支部と旧北支部とが統合され、今日の名城支部と相成りました。

当時私は支部統合役員でしたが、新しい支部名にふさわしい名称はどの様な支部名がよいか、名古屋城があり市内中心支部として名城支部はどうかと協議したことが懐かしく思い出されます。

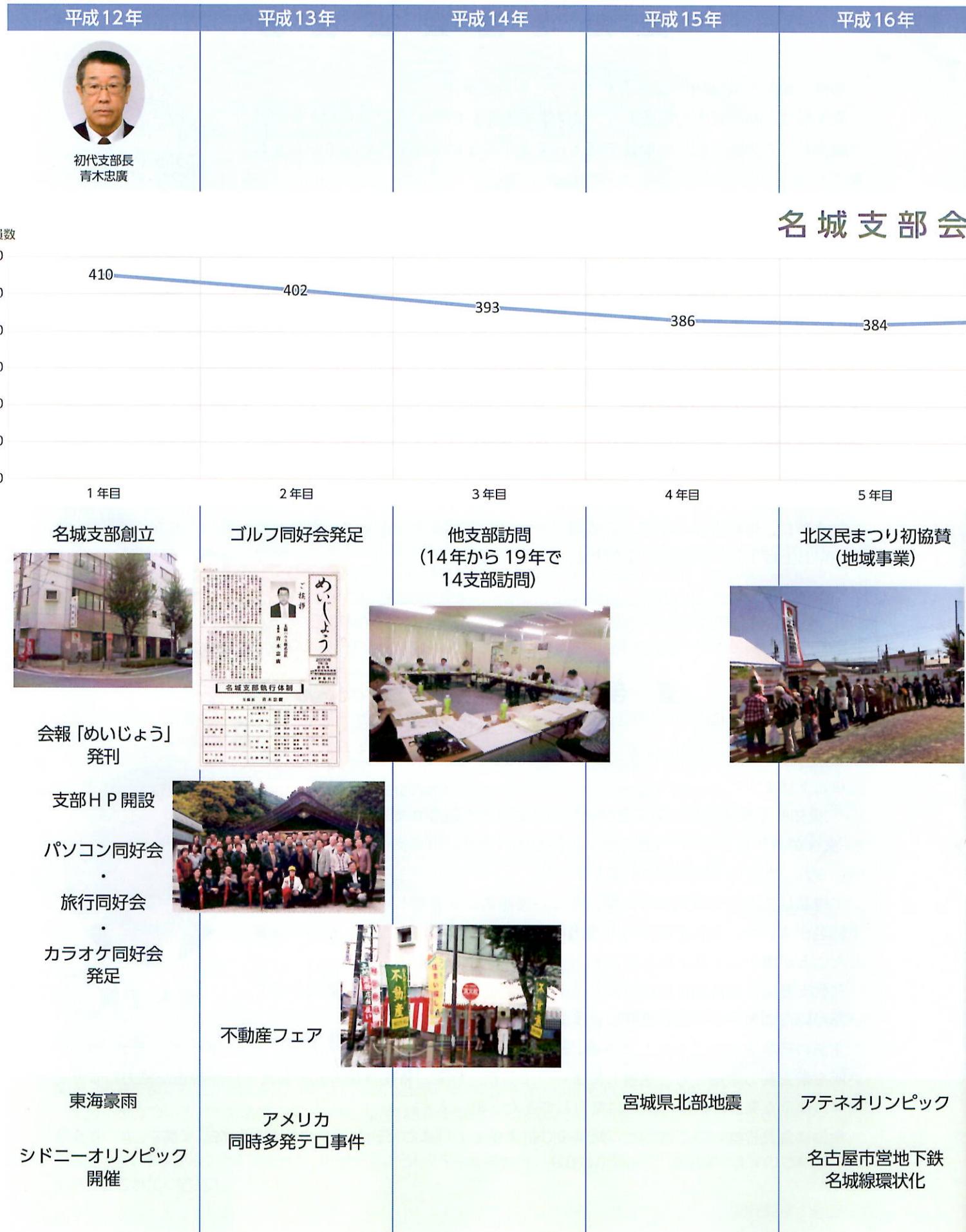
初代支部長を会員役員皆様のお力添えで、3 期 6 年という長きに勤めさせていただいたこと、心より感謝申し上げます。

支部の行事をどのようにしようか、予算の配分はどうかと役員さんと常に考え、旧支部、それぞれ良い所を新支部の事業として実施してまいりました。以来、新役員様の元、会員一同が親密な協力により、業界の健全な発展と組織の団結に努力してきたと思います。



青木 忠廣

最後に会員皆様方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



平成 17 年

平成 18 年

平成 19 年

平成 20 年

平成 21 年

二代支部長
増永邦克

員数の変化



6 年目

7 年目

8 年目

9 年目

10 年目

テニス同好会発足

東区民まつり初協賛
(地域事業)

旅行 南紀白浜



新年会

F R K 発足

名城・東名合同研修会

中部国際空港
(セントレア) 開港
耐震強度偽装問題
(姉歯事件)
愛・地球博開催

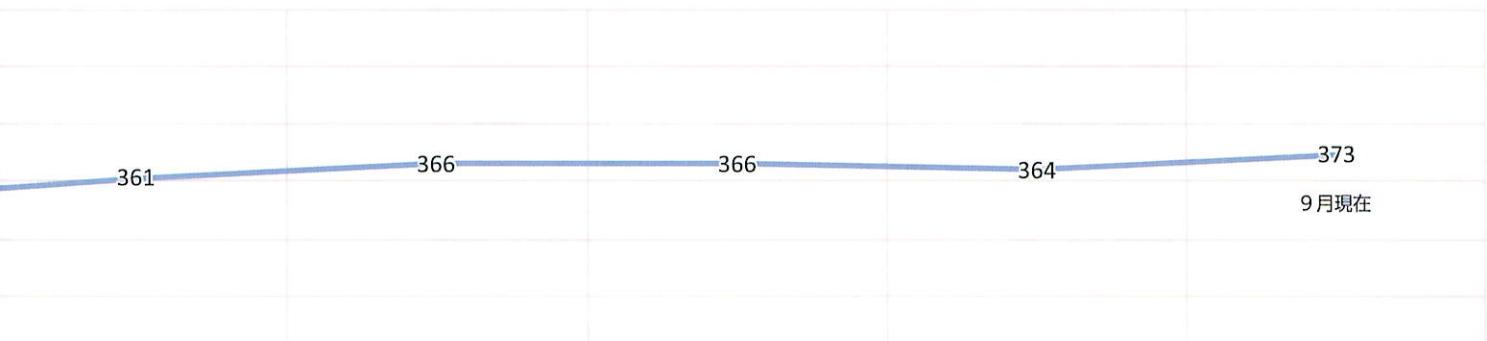
中日ドラゴンズ
日本一

windows7 発売
政権交代



平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年(令和元年)

員数の変化



16年目	17年目	18年目	19年目	20年目
会員向け勉強会 スタート	優良会員表彰制度 スタート	協会創立50周年 記念式典開催	FRK海外研修	
				
主任者から取引先へ	卓球同好会発足	名城・名南合同コンペ		東区ソフトバレー初協賛 (地域事業)
				
リオオリンピック開催	トランプ政権	西日本豪雨	平成から令和へ	
		大阪地震	新天皇誕生	
		北海道地震	消費税10%へ	

優良会員表彰

《支部創立以来 20 年連続受講対象者》



(有)加藤産業
加藤 誠一郎



(株)ヨシコー
吉川 幸子

《過去 15 年連続受講者対象者》

商 号	正会員	商 号	正会員
犬飼商事(有)	犬飼 隆	安田地所(株)	安田 真一
(株)大曾根商産	藤田 志保	(株)友喜	吉田 輝夫
(有)サンシティ	増田 恵治	(株)リアルホーム	曾我部 茂
東晃商事 (資)	溝上 武敏	商 号	準会員
(有)ビージー	渡邊 豊	安藤事務所	安藤 郁夫

《過去 10 年連続受講対象者》

商 号	正会員	商 号	正会員
(株)アーサ	大澤 良夫	第一住宅相談(株)	金岡 立記
(株)五大産業	西原 良光	ビレッジホーム(有)	竹村 一仁
昭和殖産(株)	柴田 義幸	丸の内土地(株)	金田 利斎

名城支部1年の事業

4月

5月

6月

7月

8月

9月

支部総会



会員事務所調査

勉強会
(年2~3回)県下統一研修会
(義務)

名簿作成・配布



ブロック懇談会

シェイクアウト
協賛

10月

11月

12月

1月

2月

3月

北区・東区
区民まつり協賛県下統一研修会
(義務)

新年会



宅地建物取引士

地価動向調査

試験監督員



その他開催している行事

年1回支部企画研修会

青年部会女性部会（年4~5回開催の他・女性部会例会として7~8回活動）

各同好会活動（カラオケ・卓球・テニス・FRK・ゴルフ）

年3回会報「めいじょう」発行



同好会のあゆみ

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は、名城支部発足と同時に誕生しました。初代幹事は、伊藤支部長と金田副支部長が務められ現在開催は68回（令和元年9月現在）を数え歴史を積み重ねております。

活動は、年4回の定例コンペ、夏合宿または遠征、他支部との合同コンペを行い、年末には忘年会も開催し、プレーだけでなく会員同士の積極的な交流を図っております。また、合同コンペは、今年ついに5支部合同コンペ（名南支部、名南東支部、豊田支部、知多支部）が拡大して開催されました。

ゴルフ初心者の方、腕に覚えのある方問わず和気あいあいと楽しい会ですので直ぐに会員の方と親しくなれます。是非ご参加ください。

幹事：茂 直樹

カラオケ同好会

平成12年名城支部創立とほぼ時を同じくして、カラオケ同好会は発足しました。

従来の北支部・東支部間の親睦を深め、会員間の交流をはかる目的で誕生した同好会は現在まで続いています。

年間10回の例会と適宜開催される夏・冬の臨時例会を併せますと、ほぼ毎月開催されています。また、他支部との合同開催も隨時計画され、同好会設立の基本的考え方は今でも継承されています。

夕方よりお店を貸し切って、例会ごとの会費制のため、気兼ねなくいつでも無理なく参加することができます。発足当時より参加されている方や最近新たに参加された方など、会員間交流にはうってつけの場となっており、現在も活発に活動を続けています。

幹事：田中厚志

テニス同好会

テニス同好会が出来たきっかけは、名城支部創立当初から行われていたパソコン同好会でテニス談議に花が咲いたことです。この時、誰からともなく「ゴルフ同好会があるのだから、テニス同好会があっても良いよね」と話がまとまり、マスミ不動産の安藤實さんが会長になり、春日井の「勝川テニス」をメイン会場にテニス同好会が発足しました。

月に2回ほど13時から15時まで、夏の暑い盛りはアスファルトの上で死にそうなほど一生懸命に頑張りました。発足当時の会員数は17名ほどいました。初心者からベテランまでいましたので、素振りや球出しの練習から始め、後半をテニスの試合にしていました。

「勝川テニス」のコートが閉鎖になってからは、あちらこちらのコートに行っています。

年に2~3回、懇親会と称して飲み会を行い会員の懇親を深めていました。今でも懇親会は続けていますが、一番の思い出は新城でテニス合宿を行ったことです。

平成25年6月のことでしたが新城の「やまびこの丘」でテニスをし、夜には料理民宿の「川合」でおいしい料理を食べ、かつ飲み、テニス談議に花を咲かせました。河辺に螢の鑑賞に行って盛り上がったことも覚えています。

現在も月に1~2回、練習を行っています。新入会員がいないので、ほとんどが試合です。

最近の悩みは会員の高齢化も手伝って会員数が減っていること。また「勝川テニス」が閉鎖になったことで安定的なコートの予約が取れなくなったこと。定期的に行なえる安定したテニスコートが取れれば、会員も増えると思います。

これからも楽しくテニスを続けていきたいと思います。

初代幹事：水野 忠

FRK

名城支部不動産流通研究会（FRK）が発足したのは平成18年に、当時、正副支部長を中心に他支部訪問を年に2~3回ほどしており、各支部の活動状況を意見交換していました。

豊田支部に訪問した際、不動産流通研究会という同好会があり、協同広告を行ったりして活発に活動しているとの話を聞き、名城支部でも立ち上げようとのことになり、当時の榎本支部長を中心に発足したのが当会です。

実際に役立ついろいろな情報交換ができ、毎月1回昼食を取りながら20名ほどの参加者で会合を行っています。また、最近では有志を募って海外視察研修も年に1回行っています。物件情報の交換だけでなく、こんな場合どんな対応をしたらよいのか、トラブルに巻き込まれないためにはどうしたらよいのか等、なかなか聞けない話も聞けますので興味のある方はぜひご参加ください。

初代幹事：金田利齊

卓球同好会

卓球同好会は、昨今の卓球ブームにより会員の方々から「卓球やりたい」「同好会作って!」等々のお声をたくさんいただき、平成28年12月に発足させていただきました。

卓球同好会の発足にあたり、同好会規則の作成や同好会発起人署名を集めたり等、支部の承認を得るまでにはいろいろありました。

皆さんのご協力のお陰で無事発足でき、現在会員は25名で活動中です。

練習は月に2回、北スポーツセンターの軽運動室を借切つて3時間活動しています。内容としては、経験者の方にコーチをお願いし、基礎・スライスなどの技を教えていただいたり、ゲームを通してルールを覚えたりしています。

今後の目標としましては、皆さんの意欲を高める為にも、対外試合やトーナメント参加を目指していきたいと思っています。

初代幹事：藤田志保

パソコン同好会



旅行同好会



釣り同好会



名城支部 女性部会

現在、名城支部女性部会は、大きく分けて、2つ青年部と一緒に年4回の例会、そして、女性部会だけで名城支部会議室で年6回のランチ座談会 + 年1回の講師をお呼びした講習会を行っております。3月以外は月1回のペースで活動をしています。

現在、座談会は11時から13時ぐらいを目安に、改まってはなかなか聞けない事を昼食を囲んで、みんなの意見や考え方を交換したり、経験のある方にお話しして頂いたりしています。他支部との交流も行っております。

年4回の青年部との合同の例会は年間報告や年間スケジュールのご報告、ご承認から始まり、年1回の講習会、愛知県の他支部の青年部・女性部との合同研修会、忘年会と活動させて頂いております。本年度は、初研修旅行も企画されておりますので、ますます楽しい会になると思います。

会員の皆さまだけではなく、不動産従業者様も気軽に参加できる会になっておりますので、是非お気軽にお問合せ下さいませ。



〒462-0825
名古屋市北区大曾根 2-1-22
TEL : (052) 325-3033
FAX : (052) 910-1233
URL : <http://www.takken-meijyo.com/>
E-mail : info@takken-meijyo.c

編集後記

20周年記念誌を発刊にあたり、特別編集委員会を立ち上げ、原稿集め、校正、写真の選択等を行いました。過去20年間の会報に目を通し、昔の写真を見ては当時の思い出に話が弾んでなかなか作業は進みませんでしたが、何とか発刊に漕ぎ着けました。この先名城支部が30年、40年と続いてまた記念誌が発刊されることを心より楽しみしております。

20周年記念誌編集委員長 金田利齊

委員 児玉昭子、増田猛、濱口善己、藤田志保